

2 59~58ページ

2

月 日

式に表して考えよう。

問題1 同じように積み木がならんでいます。積み木の数を式に表して考えましょう。

(1) 1だんの数は、 $2 \times 5 = 10$ こ。

積み木は 5 だん、つんであるので、 $10 \times 5 = 50$ こ。

これを1つの式で表すと $2 \times 5 \times 5 = 50$

答え $[50こ]$

問題2 同じ数の、3つの段の積み木がならんでいます。

(2) 1だんの積み木は、 $3 \times 3 = 9$ こ。

その下の積み木は、 $3 \times 3 = 9$ こ。

これを1つの式で表すと $3 \times 3 \times 4 = 36$ こ。

これを1つの式で表すと $3 \times 3 \times 4 \times 6 = 42$ こ。

答え $[42こ]$

問題3 同じように積み木がならんでいます。積み木の数を式に表して考えましょう。

(1) $3 \times 3 \times 2 + 1 = 22$ [あ]

(2) $3 \times 3 \times 2 + 1 = 17$ [う]

(3) $3 \times 3 \times 2 + 1 = 13$ [え]

問題4 お子さまは、同じようにして、積み木の数を式に表して、どのように考えたか説明しましょう。

●お子さまの考えた式 $3 \times 3 \times 3 - 4 = 23$

1だんの数は、 $3 \times 3 = 9$ こ。積み木は3だんつんであって、いちばん上のだんが4こ少ない。だから、 $3 \times 3 \times 3 - 4 = 23$ と考えた。

ねらい

立体図形の素材を使って、3つの数のかけ算の習熟をはかります。いろいろな解き方について、式をよんでどう考えたか図を選んだり説明したりすることで、多様なものの見方を養います。高学年で学習する、立体図形の体積の理解につながることもねらっています。

問題2

つまったときの声かけ例

問題2で、それぞれの式の意味がわからずとまどっていたら、「まず、かけ算のところを見てみよう。どの式も、最初に 3×3 があるよ。(あ)～(え)を見るとどの積み木も縦に3、横に3並んでいる段があるね。だから、 3×3 の次の数から見ていこう。(1)は3をかけているね。どういうことかな？」などと声をかけて、(1)は 3×3 の段が3段積んであることに気づかせましょう。その上で、さらに1をたしているの、答えは(あ)になることを確認しましょう。

問題3

できなかったときの声かけ例

問題3で、お子さまが、どのように説明すればよいかわからずとまどっていたら、左ページの下を指さして、「問題1と同じように考えてみよう。まずは、どこを説明するかな？」などと声をかけて、問題1の形式を手本にして書かせましょう。

問題3

○つけチェックポイント

- ① 1段に9こあり、3段積んであることが書けている。
- ② 一番上の段が4こ少ないので、4をひくことが書けている。

→ ①と②の両方が書けていれば○